茨城県ＰＴＡ連絡協議会

われら茨Ｐ連

VOL.133　令和２年12月11日
発　行　茨城県ＰＴＡ連絡協議会
編　集　広報委員会
事務局　茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
茨城県三の丸庁舎３階
TEL：029-227-4779
印　刷　野崎印刷紙器株式会社

Mail:webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp

子どもたちの明るい未来へ、知恵を集めて協力し合うＰＴＡ
～ピンチをチャンスに！ＰＴＡをブラッシュアップしよう。～

今，私たちができること

みんなで嫌悪や偏見・差別・いじめの連鎖を断ち切っていきましょう

わたしのおかあさんは、かんごしさん。
いのちをまもるヒーロー
びょうきのひとのためにがんばっている。
おうちのルールは、おもいやりのあるひとになること。
おかあさんみたいな、
だれかのためになることができるひとになりたいな。

三行詩コンクール作品
（八千代町立西豊田小学校
２年　櫻井　美夢さん）

全国では医療に従事する方のお子さんや、感染し治療をされている方、そのご家族、クラスターが発生した学校の児童や生徒等が、差別や中傷を受けたりする事態となっており、子をもつ親である私たちにとって、大変心が痛むできごとです。

しかし、私たちの心がけ次第で、この状況は変えることができるはずです。私たちは、良き大人として、責任と自覚を持った行動を子どもたちに見せなければなりません。

私たちは「コロナを憎んで人を憎まず」、常におもいやりの気持ちをもって、コロナに関する偏見・差別・いじめの連鎖を断ち切っていきましょう！（茨Ｐ連会長より）

コロナをきっかけとしたクラウド
～『ＦＲＯＭ本部』と『ＦＲＯＭ保護者』～

守谷市立大井沢小学校ＰＴＡ副会長
上　田　雄　悟

ＰＴＡがクラウドを使う意味は何でしょう？大井沢小（福田理明校長）には、元々『ＦＲＯＭ本部』というＰＴＡ活動を保護者へ通知する手紙がありましたが、今年はクラウド上に各種手紙を保存して、そのＵＲＬをメルマガで配信するやり方に変えました。

しかし、それだけでは紙が電子文書に代わっただけです。クラウドを使う本当の意味は、『ＦＲＯＭ本部』に対する『ＦＲＯＭ保護者』ができることです。これまで一方向だった発信がクラウドで双方向にできるので、本部が行った施策や発信について、保護者がどう思っているか知ることができます。例えば10月の運動会では、コロナ対策として入場制限（１家族１名）を行いました。それに対して意見は賛否両論でした。でも、それが来年の運動会の改善ポイントになります。※画像（コロナ禍の運動会を話し合うＰＴＡ）

今までは一方向だった発信が、コロナをきっかけとして、思いがけず双方向のやりとりになりました。元々大井沢小は『全員参加型のＰＴＡ』を標榜しています。双方向のインフラこそが、全員参加型のＰＴＡを支える基盤になる、そんな感触を得ています。

感染者を守る

桜川市立雨引小学校ＰＴＡ会長
勝　田　浩　幸

新型コロナウイルス対策につきましては、県内で様々な取り組みがなされていることと存じます。しかし、完璧な対策などなく、どんなに気を付けていても感染を防げない場合があります。

こうした状況のなか、学校内で万一の事態が発生してしまった時、決して、子どもたちや先生方を責めるようなことがあってはいけません。「感染者を守る」この考え方を、少しでも多くの皆様と共有したいという思いから、今回の文書を作成しました。

文書配布にあたり、大和中学校区ＰＴＡ間の連携と、学校側の迅速な対応があったことは言うまでもありません。今後も私たちは「すべては子どもたちのために」心を合わせて取り組んでまいります。※見本は本会ＨＰ参照

子ども参加型の掲示物づくり

高萩市立秋山小学校ＰＴＡ会長
小茂田　元　貴

コロナ禍の中、子どもたちや先生たちのために何かできることをしたいという思いから、「できる人ができる範囲で」活動してきました。高萩市の制度である「はぎッズサポーター」にも登録している会員が、子どもたちと接触することなく活動してきました。４月には、１年生の教室の掲示物づくり、６月には花火、９月にはハロウィンにちなんだ掲示物を今度は子ども参加型で作成し、子どもたちに楽しんでもらいました。その他、毎週金曜日の放課後にトイレの清掃・消毒作業を行ったり、父親委員会製作の掲示板の飾りも季節感が出るように随時行ったりしました。今後も、感染症対策をとりながら、子どもたちや先生たちのためにできることに取り組んでいきたいと思います。

ＰＴＡにおける個人情報の取扱いについて

水戸市立笠原中学校ＰＴＡ会長
鈴　木　文　洋

ある日学校から渡されたお便りの中に、ＰＴＡは「個人情報取扱事業者です。」とありました。しかも漏えい時の対策として保険に入りましょうと。「ん？いったい何のことだ？」と思ったのが、恥ずかしい話ですが、私たちの取組の始まりでした。当校の本部役員で激熱な行政マンの海老澤副会長と弁護士の岡田利恵先生のもと、早速勉強会を開催しました。単位Ｐの本部内はもちろんブロックでのＰＴＡ研修会、さらには水戸市ＰＴＡ会長会議においても岡田先生に講師となってもらい、水戸市内みんなで勉強し課題を共有することができました。岡田先生は「個人情報取扱規約」策定をすすめています。それはＰＴＡ会員への「利用目的」の公表・安全管理措置の一環でもあり、何よりＰＴＡ会員の安心感・ＰＴＡ役員への意識づけにもなるとのことでした。

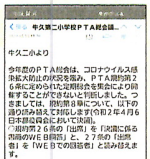
最近ＰＴＡ不要論などＰＴＡについて風当たりが強いのは、やはりＰＴＡ会員の安心感の無さではないかと気づかされるものとなりました。今までがこうだった、慣例とか、暗黙の約束事など、よくわからないのがＰＴＡだと思います。コロナ禍でさらにＰＴＡの大切さが薄れていくような気がします。

そうならないように、みんなでちゃんとＰＴＡを知ること。そしてみんなに伝えることを行動していきましょう。こんな時だからこそできることはたくさんあるはずです。みんなで知恵を出し合い乗り切っていきましょう！

ＷＥＢ回答によるＰＴＡ総会議案承認・不承認の確認

牛久市立牛久第二小学校教頭
北　澤　宏

例年通りにＰＴＡ活動を始められるように、会員に、次のような手順でＷＥＢによる承認・不承認の回答をしてもらいました。４／６（月）入学式受付で総会資料を配付。４／７（火）始業式の日に２～６学年保護者宛に総会資料配付。４／14（火）メールで回答依頼文書配信。４／24（金）回答結果の配信。本校のＰＴＡ会員数は２７４人で、２～６学年の保護者には昨年度内に、１学年の保護者には入学式後に、無料メール連絡網サービス「マチコミ」を登録してもらいました。学校、学年では、すでに各種連絡等に活用しており、回答率72.４％で、議案はすべて承認されました。

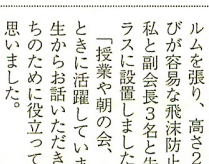


「できる人ができる時にできる範囲で」

神栖市立波崎第三中学校長
大　塚　秀　一

連日の消毒作業で職員にも疲弊感が出始めた７月下旬、ＰＴＡ会長から感染防止対策に対するねぎらいの言葉とともに、ＰＴＡとして消毒作業のお手伝いをしたいという申し出がありました。早速、「できる人ができる時にできる範囲で」をモットーに「ウイルス撲滅ボランティア」と称し協力者を募ったところ、現在に至るまで多くの保護者の協力をいただいています。さらには、ＰＴＡ役員より週１回の作業でコロナ感染防止に大きな効果のある抗菌剤を寄付していただき、８月下旬からは週１回の作業となりました。その結果、教職員の負担は大幅に減り、生徒に向き合う時間の確保に繋がっています。

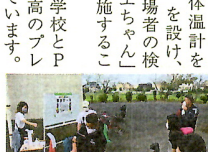
今回の活動はまさしく「Ｗｉｔｈコロナの時期　ＰＴＡができること」そのものです。皆様の協力は我々教職員の大きな励みとなりました。この場を借りて感謝申し上げます。



コロナ禍に向けて一致団結！日立市Ｐ連!!

日立市立小・中学校ＰＴＡ連合会会長
草　地　学

新型コロナウイルスの影響により開催が危ぶまれる中、市Ｐ連の活動として県内でもいち早く、第１回単位Ｐ会長会議を開催しました。単位Ｐ会長会議とは市内にある小・中学校39校のＰＴＡ会長、母親委員が集まり、子どもたちや学校について意見交換や学びの機会を創出する場です。会議では、今年度の市Ｐ連の活動スローガン「一互一笑（いちごいちえ）」の発表があり、お互いが一つになり手を取り合ってＰＴＡ活動を行うとともに、子どもたちが笑顔になるために、これまで活動をともに行ってきた仲間と一緒に笑顔の共有を目指そうと誓い合いました。あわせて、事前に全単位Ｐからコロナ禍における学校や子どもたちの課題を集め、日立市教育長に集計結果を提出しました。



ＷＥＢ回答によるＰＴＡ総会議案承認・不承認の確認

牛久市立牛久第二小学校教頭
北　澤　宏

例年通りにＰＴＡ活動を始められるように、会員に、次のような手順でＷＥＢによる承認・不承認の回答をしてもらいました。４／６（月）入学式受付で総会資料を配付。４／７（火）始業式の日に２～６学年保護者宛に総会資料配付。４／14（火）メールで回答依頼文書配信。４／24（金）回答結果の配信。本校のＰＴＡ会員数は２７４人で、２～６学年の保護者には昨年度内に、１学年の保護者には入学式後に、無料メール連絡網サービス「マチコミ」を登録してもらいました。学校、学年では、すでに各種連絡等に活用しており、回答率72.４％で、議案はすべて承認されました。

「Ｚｏｏｍ」によるオンライン会議

ひたちなか市ＰＴＡ連絡協議会会長
藤　咲　英　史

本市Ｐ連では、「Ｚｏｏｍ」によるオンライン会議を実施しています。

今後、オンライン会議をする方々に、本市の成果と課題を紹介します。参考にしていただき、皆様のＰＴＡ活動にお役立てください。

成果①市Ｐ連会長が「Ｚｏｏｍ」のホスト有料会員になり、時間制限の制約をなくした。

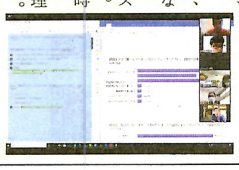
成果②参加者の移動時間が無くなり、拘束時間を軽減できた。

成果③市Ｐ連事務局は、会場の設置、交通費の手配などの雑務が不要になり、事務局の負担軽減となった。

課題①会議中、タブレットの電池やスマホのストレージ関係で不具合が出た。

課題②オンライン会議の出欠確認に時間がかかった。

課題③オンライン会議への参加方法の理解定着が難しく、欠席者が出てしまった。



教室用シールドの製作と設置

古河市立古河第六小学校ＰＴＡ会長
加　藤　海　洋

臨時休業期間が終わり、先生方と今後のＰＴＡ活動のお話をさせていただいた際、飛沫対策として教室用シールドの設置を提案しました。先生方から「助かります。」とお話をいただきましたので、早速、製作に取りかかりました。

製作するにあたり、塩ビパイプのメーカーさんが、学校のためにと材料の一部を無償で提供してくださいました。その塩ビパイプで組み立てたフレームに透明なフィルムを張り、高さ２２００ミリ、幅９００ミリの持ち運びが容易な飛沫防止のシールド23個を完成させました。私と副会長３名と先生方にもお手伝いいただき、各クラスに設置しました。

「授業や朝の会、検温検査のときに活躍しています。」と先生からお話いただき、子どもたちのために役立ってよかったと思いました。

「コロナ禍運動会」

利根町立布川小学校ＰＴＡ会長
横　山　篤　人

新型コロナのため、３月より学校行事が中止や未定となり、ＰＴＡ本部も頭を抱えていました。そんな折、学校長の「このままでは子どもたちが可哀想だ、半日の運動会だけでも実現させたい。」という思いを聞き、我々ＰＴＡ本部は、すべての来場者の検温チェックを行うことで、学校を応援しようと考えました。

当日は、ＰＴＡ本部、厚生委員、学年委員、おやじの会の協力のもと、サーモグラフィーと非接触型体温計を用いた「検温ゲート」を設け、５００名を超える全来場者の検温と「いばらきアマビエちゃん」の登録用紙の配付を実施することができました。

子どもたちのため、学校とＰＴＡが一緒になり、最高のプレゼントができたと信じています。

※単位ＰＴＡ：各学校のＰＴＡ

【ご報告】茨Ｐ連では，新型コロナウイルス感染症拡大による医療現場での個人防護具不足に伴い，2020年５月保管していたカッパ155着を茨城県に寄贈させていただきました。

Ｗｉｔｈコロナの時期にＰＴＡに期待すること

茨城県教育委員会教育長　小泉　元伸

茨城県ＰＴＡ連絡協議会の畠山会長様をはじめ会員の皆様には、日頃より子どもたちの健全育成並びに学校・家庭・地域の連携推進にご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

また、「コロナ禍」の中、ご家庭におかれましては、これまで以上に子どもたちの感染症予防のために、ご理解・ご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、会員の皆様には、「Ｗｉｔｈコロナの時代」に新型コロナウィルスと共に生きるために、「新しい生活様式」を踏まえ、子どもたちの健康観察、外出の際の三密回避や免疫力を高めるための十分な睡眠、バランスのとれた食事等にも引き続きご配慮をいただければ幸いです。

子どもたちの明るい未来のため、また、安全・安心な学校生活を送るためにも、ご家庭の協力が必要不可欠であります。今後も、貴協議会、そして会員の皆様と連携しながら、共に力を合わせていきましょう。

私たちＰＴＡにできること

会長　畠山　佳樹

まず、コロナ禍において、子どもたちのために臨機応変に対応いただいている教職員並びに行政関係の皆様に厚く御礼申し上げます。そして、職場や家庭で奮闘され、さらに学校のために様々なＰＴＡ活動に取り組む保護者の皆様に深い敬意を表します。

さて、コロナ禍により対面活動ができず私たちの活動に大きな混乱が生じました。その中でも、ＳＮＳを活用した非対面での定期総会開催や、学校の消毒活動支援など、“ピンチをチャンス”と捉えた柔軟な対応が県内各地で見られたことは素晴らしいことです。

我々茨Ｐ連も今こそ変化のタイミングと捉えて、県内の各単位ＰＴＡの活動情報の収集と共有化、意見集約と情報発信の強化を目指しています。今回はその一つとして、広報紙の全戸配布と、栃木大会コンテンツの全会員閲覧（任意、期間限定）を実施します。ぜひ、多くの好事例に触れてください。

一方、情報共有の円滑化は必要ですが、コロナ感染に伴う差別や、誹謗中傷は絶対に防がなくてはなりません。今回、噂話がＳＮＳ等で拡散し、差別や誹謗中傷に繋がる恐ろしさを我々は知りました。我々保護者は子どもの模範として、毅然とした姿勢を示しましょう。

最後になりましたが、“私たちにできること”は、正しい情報をキャッチして、変化を恐れず、一人ひとりが行動することです。県内一丸となって、子どもたちの明るい未来を創っていきましょう。

令和２年度「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～（三行詩コンクール）

皆様より１、４９１点のご応募をいただきました。ありがとうございました。

小学生の部優秀賞（全国推薦）　猪ノ原　蘭様、光山　諭様、有福　陽香様、小島　颯藍様、岩月　紘基様

入　選　石川　真翔様、戸村　瑠菜様、山本　和真様、齋藤　杏奈様、櫻井　星綾様、牧野　蒼様、岩月　美緒様、郡司　暖心様、小澤　心音様、福田　琴子様

中学生の部優秀賞（全国推薦）　菊池　真樹様、池添　悠稀様、川崎　優也様、渡辺　大揮様、福地　羽音様

入　選　佐藤　朱莉様、長嶋　李奈様、中嶋　賀人様、神崎　紫音様、中村　麻奈美様

一般の部優秀賞（全国推薦）　河原井　幸恵様、岡崎　亮子様、青柳　由希子様、矢口　まき子様、安　浩司様

入　選　池澤　紀代美様、村上　千恵様、田所　典子様、高谷　圭子様、吉田　優美様

それぞれの家族の生活のようすが目に浮かぶ作品がたくさんあり、作品からは、皆さんの家族や人の思いを大切にする気持ちが伝わってきました。また普段なかなか伝えられない心の中の一言を素直に表現した作品が多く、温かい気持ちになりました。当たり前の日常にある小さなやりとりやできごとが、実は大きな喜びや幸せであるということにも気づかせていただきました。

【審査員　学校：平井・飛田、女性ネットワーク委員会：佐藤・添野】

「ただいま」の一声で家族の変化に気づく母

「大丈夫？」その一言で私の心はすくわれる

次年度も応募をお待ちしています。5月募集開始です。

おめでとうございます!!

優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰

【団体】鹿嶋市立豊津小学校ＰＴＡ
石岡市立石岡小学校ＰＴＡ

日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰

【団体】北茨城市立関本小中学校ＰＴＡ
東海村立東海南中学校ＰＴＡ
常総市立石下西中学校ＰＴＡ
【個人】山本　主税様、小野　智久様、根本　高明様、篠崎　圭一郎様

茨城県ＰＴＡ連絡協議会会長表彰

【団体】水戸市立吉沢小学校ＰＴＡ、笠間市立笠間小学校ＰＴＡ、ひたちなか市立東石川小学校ＰＴＡ、茨城町立大戸小学校ＰＴＡ、わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校ＰＴＡ、常陸太田市立機初小学校ＰＴＡ、北茨城市立大津小学校ＰＴＡ、鹿嶋市立三笠小学校ＰＴＡ、神栖市立大野原西小学校ＰＴＡ、石岡市立府中中学校ＰＴＡ、龍ケ崎市立城ノ内中学校ＰＴＡ、取手市立桜が丘小学校ＰＴＡ、牛久市立中根小学校ＰＴＡ、豊里学園つくば市立豊里中学校ＰＴＡ、古河市立三和中学校ＰＴＡ、筑西市立鳥羽小学校ＰＴＡ、坂東市立岩井第一小学校ＰＴＡ

【個人】45名の皆様、【永年功労】43名の皆様

ＰＴＡ広報紙コンクールへのご応募ありがとうございました。

第42回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール
【佳作】つくば市立秀峰筑波義務教育学校ＰＴＡ
第29回茨城県ＰＴＡ広報紙コンクールの結果をお知らせします。
（★は、第42回全国小・中学校広報紙コンクール出展）

小学校の部

★水戸市立石川小学校ＰＴＡ
★牛久市立ひたち野うしく小学校ＰＴＡ
★日立市立大久保小学校父母と先生の会
★阿見町立あさひ小学校ＰＴＡ
★日立市立山部小学校ＰＴＡ
★下妻市立騰波ノ江小学校・幼稚園ＰＴＡ
石岡市立杉並小学校ＰＴＡ
高崎学園つくば市立茎崎第一小学校ＰＴＡ
石岡市立南小学校ＰＴＡ
土浦市立中村小学校ＰＴＡ

中学校・義務教育学校の部

★ひたちなか市立那珂湊中学校ＰＴＡ
★茨城大学教育学部附属中学校ＰＴＡ
★つくば市立秀峰筑波義務教育学校ＰＴＡ
★水戸市立第四中学校ＰＴＡ
守谷市立御所ケ丘中学校ＰＴＡ
水戸市立緑岡中学校ＰＴＡ

各広報紙に紙面構成に工夫が見られ、広報委員さんの熱意が伝わってきました。特に「保護者の、ココが気になる！」「お父さんの子育て観」シリーズなど、各紙に保護者目線での記事や役立つ情報が盛り込まれているのがよいですね。【審査員　坂場・石島】

家庭教育実践事例集「愛の記録」第55集受賞者の皆様をご紹介いたします。

教育長奨励賞

井頭　健一様、金子　みどり様、鈴木　政博様、関野　智恵美様、石島　克恵様

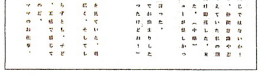
優　秀　賞

小倉　ひと美様、飯淵　ハイン様、黒田　康史様、松井　久美子様、川村　明美様、地橋　秀様、宮下　哉子様、大久保　宏己様、島田　真司様、中山　育実様、増山　みなみ様、青柳　亜希様、藤井　智香様、藤原　洋平様、寺田　麻美様、猪瀬　千尋様、大島　正巳様、小口　由紀子様、谷中　英男様、長島　三果様、堂本　直美様、清水　梓様、中川　裕美様、曽我　佳代様、戸塚　恵美様、島田　清美様、落合　和也様、保田　義正様

優　良　賞

飯泉　朋美様、柴　亜樹様、池上　奈津美様、渡邊　欽子様、古沢　悦子様、樹川　智子様、臼井　隆司様、小池　美由紀様、中山　恵子様、寺田　直美様、塩畑　理恵様、柴崎　愛美様、我妻　美涼様、佐藤　奈美様、新井　涼子様、白田　永作　里美様、大和田　有希様　〈順不同〉

作品のご紹介等については、家庭教育実践事例集「愛の記録」第55集をお求めください。また、令和３年度第56集の募集についても、令和３年４月にはお知らせをする予定でおりますので、たくさんの皆様のご応募をお待ちしております。



一般社団法人茨城県ＰＴＡ安全互助会（茨Ｐ安）の紹介

茨Ｐ安とは？

ＰＴＡ会員等が、ＰＴＡ活動中にケガ・病気・死亡等に至ったときや怪我を負わせたり物損等の事故を起こしてしまったときに、共済金や見舞金を給付する互助組織です。

事業内容

・共済金、見舞金の給付
・安全普及啓発活動

共済金、見舞金の給付例

・ＰＴＡ主催のソフトバレーボール大会で捻挫した。
・運動会でＰＴＡ種目に参加しアキレス腱を断裂した。
・ＰＴＡ奉仕作業で植え込みの除草作業中、蜂に刺された。
・ＰＴＡ奉仕作業で刈払機を使用中に小石が飛び体育館の窓ガラスを破損した。

安全普及啓発活動の助成例

生徒用のフェイスシールドを本互助会の助成金により購入し全校生徒に配布、授業や集会等で使用している。

日立市立駒王中学校の様子

令和２年度　茨Ｐ連の役員ご紹介

役職	氏名	地区	役職	氏名	地区
会長	畠山　佳樹	中央	副会長	飛田　正樹	県西
副会長	萩野　元弘	中央	副会長	大塚　昌弘	学校長会
副会長	柿崎　公司	県北	副会長	佐野　由美子	県北
副会長	小瀬　宏	県東	顧問	山本　主税	県東
副会長	森山　克彦	県南			

書き損じはがき回収活動実施中♡

～２月９日（火）までの予定です。
各市町村ＰＴＡへの支援と茨城県社会福祉協議会への預託をとおしての社会貢献の財源になります。

編集後記

広報紙「われら茨Ｐ連」発行にあたり、広報委員並びに関係者、ご寄稿戴きました皆様に心より感謝申し上げます。また、今年度の広報紙は、茨Ｐ連をはじめ県内ＰＴＡの活動をより多くの方々へお伝えするため、これまで年２回各単位PTAに２０部をお送りしていたものを、年１回として全会員（１９万世帯）に配付することといたしました。なお、記事詳細をＨＰに掲載する予定でおりますので、下記ＱＲコードよりアクセスしてください。

最後になりますが、より良い茨Ｐ連・広報紙を目指すためアンケートを実施しております。是非皆様の貴重なご意見をお聞かせいただけますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

茨Ｐ連広報委員会委員長　萩野　元弘

［HP 詳細情報 QR コード］（右上）
https://www.ibarakiken-pta.ne.jp/prp133-doc/

［アンケート QR コード］（右下）
https://forms.gle/BYig4Pgg28gAUFpZ6

関東ブロック研究大会とちぎ大会［動画配信］のご案内

配信期間　2020年11/14(土)～2021年2/13(土)まで

PTA活動の一助として、ぜひご覧ください。

PTA会員なら、どなたでもご視聴できます。
PTAの会議や研修などをはじめ、ご自身が思い描く子育てのヒントとして幅広くご活用ください。

学校でも！家庭でも！何度でも！

誰でもカンタン3ステップ！

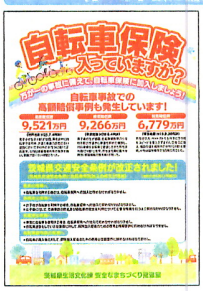
STEP 1　PC・スマートフォンなどからアクセス！
アクセスはこちら→https://t-pta.jp

STEP 2　IDとパスワードを入力
動画視聴にはIDとパスワードが必要です。

STEP 3　“とちぎ大会”を視聴
気になるテーマをご覧ください。

ID　パスワード

万一の事故に備えて、自転車保険を考えてみませんか。



ご存知ですか。茨城県交通安全条例が改正され、自転車保険加入の条文が追加されました。もし、加害者になってしまったら・・・。

高額賠償事例

損害賠償額 9,521 万円（神戸地裁 H25 年７月４日判決）

男子小学生（11 歳）が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性（62 歳）と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。

※詳細は茨城県生活文化課安全なまちづくり推進 HP をご参照ください。

https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/seibun/anzen/index.html